

第1回生駒市医療費等適正化推進委員会会議録（要旨）

1. 日時 平成24年11月16日（金）午前10時から
2. 場所 生駒市役所 301会議室
3. 出席者
（委員）
伊木雅之会長、関本美穂委員、北岡有喜委員
（事務局）
池田福祉健康部長、堀内国保年金課長、田中国保年金課長補佐、

4. 議事内容

- (1) 会長挨拶
- (2) 医療費適正化の状況について
- (3) 医療費適正化の報告について
- (4) 医療費の分析等について
- (5) その他

5. 審議案件

【案件2】 医療費適正化の状況について

（事務局説明） 最近の医療費適正化の取り組みについて

- ・ ジェネリックについての市民（7月）及び推奨薬局（8月）に対するアンケートの実施。
- ・ 9月8日の「福祉と健康のつどい」の実施報告（ジェネリック医薬品フォーラム、休日集団健診）
- ・ ジェネリック差額通知の効果額等報告（23年10月から9か月で約1,200万円削減）
- ・ 医療費の状況
→24年度は、半年経過で前年度比減少。高齢者の伸びの鈍化も影響か。
- ・ 適正化のホームページの立ち上げについて（内容説明）
（トップのバナーは医療費が減少中のため未完成）

【委員】ジェネリック対策は、医療機関サイドへの働きかけは難しいが、患者の意識をまず変えることで長期に行うことが有効。市内は門前薬局が多いので医者への反対はしづらい。市民が変われば医者にも影響出てくる。市民病院もジェネリック主流になる。意識付けのアンケートも継続してほしい。

【事務局】薬局側にもメジャーなジェネリックの情報等を提供していく。

【委員】ホームページ（HP）のトップをどうするか。医療費に対する自己負担が少ないこと、医療費の適正化が、自分たちが払う保険税に影響することを知らせる。

【委員】（トップのバナーについて）医療費の伸びで数値的に区切り（例えば5%）最初は（危険の赤ではなく）黄色でもよい。

【事務局】今後国保の医療費は余り伸びないが、後期高齢や介護の負担が大きくなる。

【委員】財政のグラフもわかりやすいように簡素化したほうがよい。

※導入部分については、関本委員に案を出してもらうことに。

【委員】広報紙でも特集で取り上げてみては。

【委員】自己負担が低いこと、皆が医療費を少し減らすと保険税が大きく変わることから「皆で頑張ろう」ということを啓発し、実際の方法としてジェネリックやかかりつけ医を推進してもらおう。

【委員】保険税については、黒字であれば下げてもよい。医療費が減れば保険税も下げられるということを知らせる。ただし、再び赤字ができれば戻すということを条件付けしておく。

【委員】（アンケートについて）適正化のHPを内容について実施してみてもどうか。

【案件3】 委員会からの報告書について

※事務局が調整した報告書について11月末までに各委員に内容を確認してもらうことに。
最終調整後、HP等にも載せる。

【案件4】 医療費の分析等について

事務局から「奈良県の医療費等の状況」（20年度～22年度、生駒市分も含む）NTTデータからの「上位20疾病の推移」の資料を提供。

【委員】疾病名でその他の割合が多すぎる。ベスト100を出してほしい。それをもとに増加原因のターゲットを絞れる可能性がある。

【委員】腎不全が多いが、重症化予防が大切。元疾患（糖尿病、高血圧等）の状況把握についても分析が必要。

【委員】腎不全については不可逆とされているが、現在治せる研究が進められている。

【案件5】 その他

□ 次回は1月18日（金）午前10時から（場所未定）。